

スクールトピックス



未来を担う青少年の主張

青少年の主張猪苗代町大会

青少年メッセージ 2022 第 35 回青少年の主張猪苗代町大会は 7 月 16 日、学びいなかで開かれました。大会には町内の小・中・高校から 10 人が参加。「命の尊さや絆の大切さに関すること」などをテーマに自由な発想で発表しました。審査の結果、翁島小の釣巻大智さんと猪苗代中の藍原里乃さんが最優秀賞を受賞。このうち、藍原さんが特別賞に選ばれました。

1_ 中高生の部で最優秀賞に輝いた藍原さん。マスクで顔の表情が覆われたコロナ禍の日常生活では、心を通わせることが大切だと発表
2_ 小学生の部で最優秀賞を受賞した釣巻さんは、「理解から広がる『ありがとう』の輪」と題して、ともに助け合い、感謝し合える世界の実現を主張
3_ 発表者と審査員の皆さん



金メダリストが水泳指導

岩崎恭子さんによる水泳教室と講演会

バルセロナ五輪 200 メートル平泳ぎ金メダリストの岩崎恭子さんによる水泳教室は 7 月 19 日、千里小学校のプールで開催されました。水泳教室後には猪苗代中学校の体育館で講演会が開かれました。

水泳教室は翁島、千里、長瀬、吾妻小の 4 小学校 5・6 年生約 90 人が参加。岩崎さんは実際に泳ぎを見せた後、手と足の使い方、呼吸の仕方などを指導しました。参加した児童は「わかりやすく、ためになった」とうれしそうに話しました。

講演会は猪苗代中学校の生徒約 300 人が参加。「泳縁」と題した講演では、人との縁を大切にすることをテーマに、幼いころから姉の記録を追い越そうと練習に励んだ日々やバルセロナ五輪での金メダル獲得、その後つらい体験をしたがそれを乗り越えアトランタ五輪に出場を果たしたことなどを話しました。生徒会長の柳沼わかなさんは「今日聞いた話を励みに勉学に励んでいきたいです」とお礼のことばを述べました。



水泳教室で手の使い方を教える岩崎さん(左)



講演会で金メダルを披露されました

スクールトピックス



町内の小学生がイチゴ狩り体験

町内の小学生は 7 月 7 日、11 日、14 日の 3 日間、道の駅前猪苗代いちご園でイチゴ狩り体験を行いました。

7 日は猪苗代小の 4 年生、11 日は千里小の 1・2 年生、14 日は翁島、緑、長瀬、吾妻小の 1・2 年生で、6 小学校から合わせて約 160 人が参加しました。児童は、摘み取ったイチゴを次々と口に運び、「甘い」「おいしい」と歓声を上げました。

道の駅前猪苗代いちご園は、夏秋シーズンにイチゴ狩りが楽しめる農園で、7 月 23 日に道の駅猪苗代の隣にオープンしました。糖度が高く甘い新品種「猪苗代プレミアム」が楽しめます。



地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に！

地域おこし協力隊

佐川 竜二 さん

主な活動内容：6 次産業化、農産物の普及



農林課地域おこし協力隊の佐川です。
ブランド化活動では神奈川県箱根町の約 300 軒程ある高級旅館の中で 2022 年度行ってみよう宿ランキング 2 位に選ばれた旅館の目に留まり、昨年度から「いなわしろ天のつぶ」が旅館のご飯に採用されることになりました。箱根町最大の米卸業者からは、「いなわしろ天のつぶ」は『魚沼産コシヒカリ』より美味しい」という評価を頂きました。
今年の 4 月には、現役の協力隊員として初めて町消防団へ入団しました。入団してすぐに三郷地区で発生した山火事で実際に出勤する機会がありました。消火へも携わり地域の方々とより深く関わり始めてきました。夢であった宿を開くために集落に入り、温かい目で支援してくれた集落の人達に何かしらの形で恩を返したいと思い入団し、これからは地域の防災にも携わっていかれたらと思います。
協力隊卒業まで残り 1 年を切りましたが、ゲストハウス事業も徐々に軌道に乗ってきており、空き家だった場所に多くのお客さんが繰り返し来てくれるようになりました。残り一年でもっと多くの観光客の方々にゲストハウスを通して猪苗代の魅力を発信していきたいと思っています。